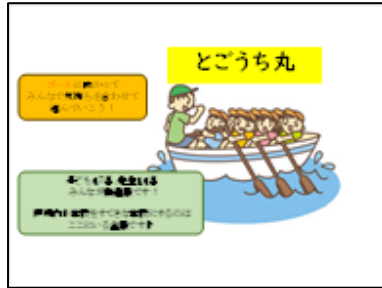


令和8年度始業式式辞



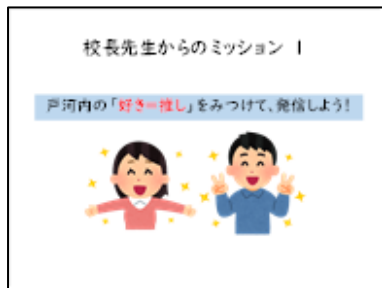
新しい1年が始まりました。皆さん、進級おめでとうございます。
 みんな1つずつ学年があがり、6年生は最高学年になりました。先ほどのあいさつを聞いて、学校のリーダーとしてがんばってくれそうで頼もしく思いました。



さて、私は、戸河内小学校の皆さんとつくるこの1年を大きな船に例えて考えてみました。そしてその船の名前を「とごうち丸」と名付けました。
 この船の乗組員は、戸河内小の子どもたちと先生方。目指すゴールにおかかってみんなで気持ちを合わせて前に進んでいく船です。戸河内小を素敵な学校にするのは、皆さん自身です。よい船旅にいきましょう。



では、めざすゴールはどこでしょうか。これを「学校教育目標」といいます。「子どもたちも先生方もみんなでこうなるようにがんばるぞ」と決めた事柄のことです。戸河内小学校の学校教育目標は「ふるさとを愛し たくましく未来を拓く児童の育成〜やってみよう!つながろう!〜」です。もう少し簡単な言葉で言い換えると・・・「とごうち大好き!」「自分を信じてやってみよう!」「まわりの人とつながりながら」となります。
 みなさんも「やってみよう!つながろう!」の合言葉をまずは覚えてくださいね。

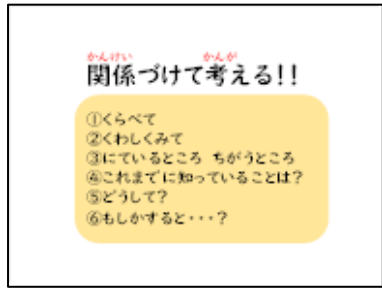


ここで、私から皆さんにこの1年のミッションを2つ伝えます。

- 1つ目は「戸河内の好き=推しを見つけ発信しよう」
 - 2つ目は「なぜ?をたくさんみつけよう」
- 1年間かけて、このミッションをクリアできるように学級でも取り組んでください。



この2つのミッション「なぜ?」と「推し!」を見つけるためのコツを2つ伝えます。



コツの1つは「関係づけて考えること」です。例えばこの漢字を見て下さい。どれも「寺」という部分を持っています。どれも音読みは「ジ」。では「侍」や「峙」という字はどうでしょうか。2つとも小学校では習いませんが、先ほどの3つの漢字と同じ部分「寺」を持っています。ということは、習っていないけれど、音読みは・・・?そうです、「ジ」と読みます。こんな風にものごとをよく観察して、知っていることと関係づけてみると、わかることがありますね。これが「関係づけて考える」ということです。ぜひ学習の中でやってみてください。

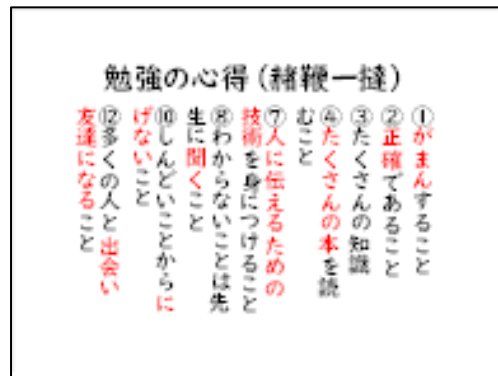


もう一つのコツは「気になったらとことんやること」です。

この花を見たことがあるでしょう。そう、タンポポです。しかし、この花の本当の名前はほかにあるのです。実は、「セイヨウタンポポ」と「ニホンタンポポ」（のどちらか）です。パッと見ただけでは違いがわかりませんね。ここで有名な植物学者 牧野富太郎さんのことを紹介したいと思います。

牧野さんは、今から150年位前に高知県の自然豊かな町で生まれ育ちました。小さいころから植物が大好きで身の回りの

植物をたくさん観察しながら大きくなりました。そこから日本中を旅してまわり、日本中の植物を集めて回りました。集めたものは、新聞に挟んで自宅に送る—それを繰り返して、この写真のように家じゅうが植物標本であふれるほどになったそうです。（写真はほんの一部です）実は山県郡にも訪れたことがあるそうです。八幡高原のカキツバタを発見したお話は有名です。こうしてとことんとことんこ

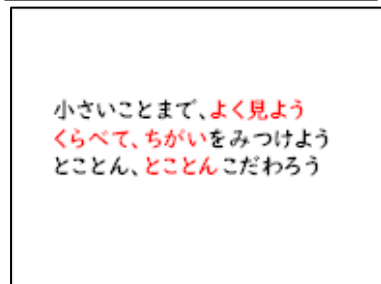


だわって植物を集め、観察したことで、牧野さんはたくさんの新種を発見しました。50万点もの標本をつくりました。「牧野日本植物図鑑」はとて有名な図鑑です。

その牧野さんが、勉強するときに大切にしていたことが残っています。（スライド参照）どれも今の時代でも大事なことですし、戸河内小学校の皆さんにも生かしていけることだと思います。できることからやってみるといいですね。



さて、最初の問題です。この写真のタンポポの正式な名前は？ヒントはこの図です。そうです、「セイヨウタンポポ」です。花の裏側をみる違いがわかります。実は戸河内小の校庭にもタンポポが咲いていました。さて、どちらのタンポポか答えを探してみてください。



「小さいことまでよく見よう
比べて、ちがいをみつけよう
とことん、とことんこだわろう」
私からの2つのミッションを1年後にどうクリアしてくれるのかとても楽しみにしています。

令和8年4月8日

安芸太田町立戸河内小学校長 萩原 英子